

今年度の活動、ありがとうございました！

早いものでもう3月、令和7年度もあとわずかとなりました。今年度も可能な限り、本部から職員が学校に行かせていただき、各校で行われている地域学校協働活動を見せてもらいました。それぞれの学校でとても工夫された特色ある活動が実施されていて、子供たちが目を輝かせて活動に参加する姿や地域の方々が熱心に支援される様子を見ることができ、とてもうれしく思いました。地域コーディネーターの皆様をはじめ、地域学校協働活動にご協力いただいた地域、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。



さて、地域コーディネーターの皆様と各学校に対して行った地域学校協働活動についてのアンケート調査の結果、活動を進める上での主な課題として、「財源の確保」と「ボランティア人材の確保」が挙げられました。予算については、前年度末の要望調査と年度途中の執行見込調査で予算配分していますが、予算を使いきれず多くの不用額を抱える学校もあります。例年、予算全体の1～2割が不用額となっていることから、今後は執行見込調査の回数を増やすなど、より適正な予算配分を推進します。また、ボランティア人材については、ボランティア人材バンク制度の周知や登録者の確保を進めていく所存です。

今年度の課題を、地域コーディネーターの皆様をはじめ、学校、地域の皆様と共有し、来年度の活動をより充実させていくことができたらと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

活動報告「放課後子ども教室」

放課後子ども教室とは、放課後などに、地域の方々の参画を得て、子供とともに勉強やスポーツ・体験活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子供たちが地域社会の中で、健やかに育まれる環境をつくる取組です。本市では、昭和小学校と泉小学校の2校で、毎週、実施されています。

昭和小学校と泉小学校では、1年生から3年生までの児童が参加し、活動が行われています。毎週の活動は地域コーディネーターの皆様が計画を立てられ、太鼓、空手、ニュースポーツ、ネーチャーゲーム、ものづくり活動など、様々な活動が行われています。参加している児童も「放課後子ども教室」の時間を楽しみにしていて、子供たちと地域の方々にとって、とても貴重な時間となっています。



昭和小「缶バッチづくり」



泉小「ニュースポーツ体験」

第2回地域学校協働活動本部会議・第5回連絡調整会議が開催されました

2月17日（火）八代市公民館にて、地域コーディネーターを対象に、第2回地域学校協働本部会議ならびに第5回連絡調整会議が開催されました。まず本部会議では、事務局から令和7年度事業報告・アンケート調査結果報告・令和8年度事業計画をお話させていただきました。

続けて行われた連絡調整会議では、八代市教育サポートセンターの中村裕一所長をお招きして、「国が進める不登校支援の方向と本市が目指す不登校支援」をテーマに講話を行いました。講話では、全国や八代市の不登校児童生徒の状況をもとに、熊本県が行っているメタバース空間での不登校への支援や八代市で行われているくま川教室による支援などの話がありました。質疑応答時には様々な質問があり、不登校問題に関して、地域コーディネーターの皆様が大きな関心を持って取り組んでいただいていることが分かりました。

全国の多くの学校で課題となっている不登校問題、特に子供たちの見守りについては地域の協力が必要不可欠になってきています。今回の研修が、地域コーディネーターの皆さんと不登校問題について考える大変有意義な機会となりました。



退職校長会の皆様のご支援に感謝します!!

八代地域学校協働活動の支援団体である八代退職校長会では、今年度も各学校に多くの支援を行っていただきました。これまで学校にプランターの設置や葉ボタンの苗の提供など、学校の環境整備にご協力いただいております。それに加え、門松づくりの作成支援や「八代子ども美術展」「八代子ども工作展」の会場受付など、様々な活動に協力していただきました。

門松づくりの活動支援が行われた学校では、門松を作る様子を子供たちが見学し、退職校長会の方が話される門松についての話を、目を輝かせて聞いていました。校長先生も「とても立派な門松を作っていただきました。子供たちはとても興味を持って作業を見学し、話を聞いていました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。」と感謝しておられました。

八代退職校長会の皆様、ご協力、ありがとうございました。

